安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: 3311 精製水20L ジャバラノズル付

製品分類 バッテリー補充液 (精製水)

推奨用途及び使用上の制限: 自動車・二輪車・特殊車両用のバッテリーに使用する補充液用

会社名: パワーアップジャパン株式会社 住所: 〒158-0081 世田谷区深沢1-9-9

担当部署: 技術部

電話番号: 03-3705-3251 FAX番号: 03-3705-3201 改訂日: 2019年1月5日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

危険有害性: なし

GHSラベル要素

シンボル:なし注意喚起語:なし危険有害性情報:なし

注意書き: 【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手すること。

【応急措置】 気分が悪い時は医師に連絡すること。

※本品には危険有害な成分は含んでおりません。

【保管】 容器を密閉して、涼しく換気のよい所で保管すること。

【廃棄】 容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄

すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品

含有成分及び含有量:

	成	分	名	含有量 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR法No.	毒劇法
精製水				100	7732-18-5	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

安衛法: 労働安全衛生法(安衛法)第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

PRTR法: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の政令番号

毒劇法: 毒物及び劇物取締法の別表一(毒物)、別表二(劇物)、別表三(特定毒物)、毒物及び劇物指定令

4. 応急措置

吸入した場合: 特になし 皮膚に付着した場合: 特になし 眼に入った場合: 特になし 飲み込んだ場合: 特になし 予想される急性症状 特になし

及び遅発性症状:

応急措置をする者の保護: 特になし

5. 火災時の措置

使用可能な消火剤: 特になし(燃焼性なし)

使ってはならない消火剤: 特になし 特有の危険有害性: 特になし 特有の消火方法: 特になし 消火を行う者の保護: 特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 特になし

保護具及び緊急時措置:

環境に対する注意事項: 特になし 封じ込め及び浄化の方 特になし

法•機材:

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 特になし 安全取扱注意事項: 特になし 接触回避: 特になし 衛生対策: 特になし

保管

安全な保管条件: 容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になる所を避け、風通しの良い冷暗所で保管すること。

安全な容器包装材料: 製品容器に準じること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度:設定なし設備対策:特になし保護具:特になし

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状):液体外観(色):無色透明臭い:無臭

pH: 6.0 (代表値)

融点•凝固点: 0 ℃

沸点・初留点: 100 ℃ (沸点)引火点: なし (不燃性)燃焼又は爆発範囲の なし (不燃性)

上限•下限:

 蒸気圧(20°C):
 2.3 kPa

 比重(20/20°C):
 1.00

 溶解度:
 水に準じる

 自然発火温度:
 なし(不燃性)

10. 安定性及び反応性

反応性・化学安定性: 通常の取扱いにおいて安定。

危険有害反応危険性: 特になし 避けるべき条件: 特になし 混触危険物質: 特になし 危険有害な分解生成物: 特になし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

・記載すべき有害性なし

12. 環境影響情報

記載すべき有害性なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 特になし

汚染容器及び包装: 使用後の空容器は内容物を完全に除去してから廃棄物処理業者へ委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

 国連番号:
 非該当

 品名:
 非該当

 国連分類:
 非該当

 容器等級:
 非該当

 海洋規制情報:
 非危険物

国内規制

陸上輸送: 規制なし 海上輸送: 規制なし 航空輸送: 規制なし

注意事項: 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防

止を行うこと。

15. 適用法令

消防法: 非該当 労働安全衛生法: 非該当 PRTR法: 非該当 毒劇法: 非該当

その他: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報(引用文献等)

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 日本オートケミカル工業会 製品安全データシート作成の指針

※注意

記載の内容は現時点で入手できた資料や情報並びに弊社の測定結果に基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性・有害性に関して実際の現場での使用結果を保証するものではありません。取り扱う事業者は、この情報を参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。